原田賢幸 個展『昨日のこととは露知らず』

Masayuki HARADA Solo Exhibition “Not knowing that it was yesterday”

展覧会名：原田賢幸 個展『昨日のこととは露知らず』
会　　期：2015年1月31日（土）～3月8日（日）
・本展のオープニングレセプションを、初日の1月31日（土）18～21時に開催します。作家も在廊いたします。
・会期中は、月曜 17～23時および金・土・日 13～19時のオープンとなります。
・なお、初日も通常通り13時からオープンいたします。
会　　場：waitingroom（東京都渋谷区恵比寿西2-8-11 渋谷百貨ビル4B）

waitingroomでは2015年1月31日（土）～3月8日（日）まで、原田賢幸個展『昨日のこととは露知らず』を開催いたします。当ギャラリーでは初の個展開催となる原田は、家電や家具、植物や食べ物などの日用品に様々な仕掛けを施すことによって、空間内を非日常空間に変化させるインスタレーション作品を発表している若手アーティストです。本展では、豆（食材）を中心に展開されるインスタレーションと、その制作のためのドローイングを数点展示します。なお同展覧会は、2015年2月27日～3月8日まで東京都写真美術館主催で開催される『恵比寿映像祭』の、地域連携プログラムに参加しています。

（左）『机の染みは昨日のものか。それとも。』2014年、インスタレーション、笠木靖之撮影、courtesy of Koganecho Bazaar 2014
（右）『今日も一日中、セミが暑苦しく鳴くのを聞いていた。夜、床に就いたがなかなか寝付けない。のどが渇いたので水を飲んだが同じことだった。』2010年 インスタレーション、第13回岡本太郎現代芸術賞展

作家・原田賢幸について

1978年東京都生まれ。2009年に武蔵野美術大学造形学部彫刻学科を卒業し、2011年に武蔵野美術大学大学院造形研究科美術専攻彫刻コースを修了しました。日常に潜むなんてことのない瞬間や、普段は気にも留めないような現象を、ユーモアたっぷりな状況に変化させて提示することによって、通常だと忘れ去られてしまうような事柄に目を向けさせるきっかけを作ることが、制作の動機となっています。近年の展覧会として、2014年『黄金町バザール2014』（黄金町　/　神奈川）、2013年個展『三日前に一度きり』（GalleryAn Asukayama / 東京）、2012年グループ展『国立奥多摩美術館　開館記念展示～青梅ゆかりの名宝展』（国立奥多摩美術館 / 東京）、2011年個展『おそらく一寸前。あるいは一寸先の。』（Art Center Ongoing / 東京）が挙げられます。また、本展と同時開催で、Art Center Ongoingで個展『temper』が開催されます（会期：2015年2月18日～3月1日）。

さまざまな人種が混在したイメージは、まるで地球から見える星の色のよう

家電や家具に全く違った動きの要素を与え、そこに人の声を響かせることによって、空間全体を別の小宇宙へとワープさせた『黄金町バザール2014』での、賑やかなインスタレーションが記憶に新しい原田ですが、今回は小さな「豆」を素材として、非常に些細な動きの反復によって展示空間内にシュールな状況を作り出します。食材を保存するために私たちの誰もが日常的に使用しているプラスチックのタッパーの中には、様々な色の豆が保管されており、それが不意に床に落ちる。その繰り返しがひたすら起こる展示空間には、時間が経つにつれて、小豆（赤）・白豆・大豆（黄）・黒豆・青豆など、様々な色の豆が混在していきます。それは、「さまざまな肌の色や目や髪の毛、血の色のイメージ(人種の混在)と、地球から見える星の色のイメージを重ねて」おり、「身体から落ちてくる色々な種類の豆（血）が地面で混じり合うイメージと、色々な星が混在しているイメージ」であると作家は語ります。それは、私たちが生きるこの社会の縮図のようでもありながら、そこには善も悪も存在せず、ただ「あるがままの状況」として提示されます。

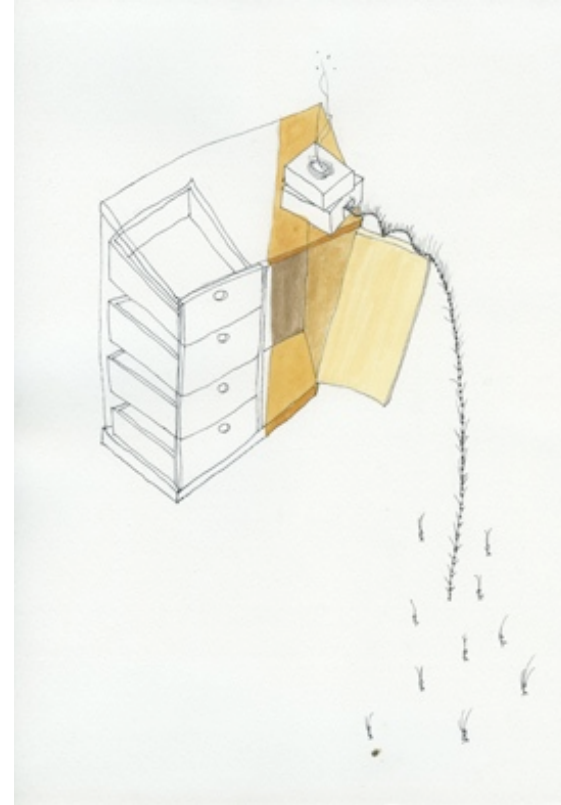
↓＜次頁＞ 作品について（つづく）

日常生活は繰り返しの連続で、その動作の大半は忘れ去られていくが・・・

「日常生活は繰り返しの連続である。寝るとか、洗濯するとか、風呂に入るとか、靴を履くとか。日々繰り返されるそういった動作の大半は、特に気に留められることもなく忘れ去られていく。
繰り返しのほとんどは衣食住に関することだけど、例えば食に絞って、食べ物を何かこぼしたり落としたら、拾いあげるか捨てるか、とにかく現場をすぐ元通りにしようとする。しかしその最中やその後、案外面白いことが起きているのかもって想像した。結果は目の前にある。（原田賢幸）」

大半は忘れ去られていく現象だが、それが普段とは少し違った状況の中で目の前に現れたら、日常の中の些細な繰り返しの連続が特別なものとして感じられるかもしれません。一体、この「繰り返し」には何の意味があるのか。特別なことではない「あるがままの状況」の中に隠された、見落としがちだが重要なファクターが、「作り上げられた繰り返し」を通して見えてくるかもしれません。
本展では、定期的に落ちる豆が保管されたタッパーが切りっぱなしの家具の上に置かれ、展示空間内に複数設置されるインスタレーション作品を中心に、制作の際に描かれたドローイングを5〜7点程あわせて展示いたします。原田が作り上げる日常の中の小宇宙を、是非ともご高覧ください。

『Harada Masayuki Exhibition』2014年、インスタレーション（会場　BLOCK HOUSE）



『ドローイング#01』2014年、ペン、水彩、紙、21 x 29.7 cm

『おそらく一寸前。あるいは一寸先の。』2011年、インスタレーション（会場　Art Center Ongoing）

↓＜次頁＞ 作家略歴

原田 賢幸　Masayuki HARADA

『勇み足と停頓の間は、思いのほか。または期待外れの。
もしくは想像通りの。』2012年、排水溝、スピーカー、水、音声
NEO公共（TERATOTERA / 東京）

作家略歴

1978　東京都生まれ
2009　武蔵野美術大学造形学部彫刻学科卒業
2011　武蔵野美術大学大学院造形研究科美術専攻彫刻コース修了

個展

2014　「HARADA Masayuki exhibition」BLOCK HOUSE / 東京都
2013　「三日前に一度きり」GalleryAn Asukayama / 東京都
2012　「電磁波。狼煙(のろし)」22:00画廊/東京都
2011　「おそらく一寸前。あるいは一寸先の。」Art Center Ongoing / 東京都
2009　continue#1 「チアリング タイフーン」CAMP(continue) / 東京都

主なグループ展

2014「黄金町バザール2014」 黄金町バザール / 神奈川県
「NEOEDOYATAI」 アサヒアートスクエア / 東京都
「GalleryAn Summer Group Exhibition 2014」 GalleryAn Asukayama / 東京都
2013「Ongoing X'mas 13」Art Center Ongoing / 東京都
「GalleryAn Summer Group Exhibition」GalleryAn Asukayama / 東京都
2012「Ongoing X'mas 12」Art Center Ongoing / 東京都
「国立奥多摩美術館　開館記念展示〜青梅ゆかりの名宝展」国立奥多摩美術館 / 東京都
「テラトテラ祭り2012」TERATOTERA / 東京都
2011「FAMILY AFFAIR」XYZ collective / 東京都
「Ongoing祭り」Art Center Ongoing / 東京都
「平成22年度 第34回 東京五美術大学合同卒業・修了制作展」国立新美術館 / 東京都
「平成22年度武蔵野美術大学卒業・修了制作展」武蔵野美術大学 / 東京都
2010「NEO NEW WAVE」island / 千葉県
「水面に登る」FAL / 東京都
「Ongoing祭り with TERATOTERA」Art Center Ongoing / 東京都
「MAGIC LANTERN Film show」MAGIC ROOM??? / 東京都
原田賢幸×永畑智大二人展 「陸上バタフライ」Art Center Ongoing / 東京都
「第１３回岡本太郎現代芸術賞展」川崎市岡本太郎美術館 / 神奈川県
2009「わくわくJOBAN –KASHIWA PROJECT」摘水軒記念文化振興財団助成事業 / 千葉県
「Art Program Ome 2009」文化庁支援事業 / 東京都
「Ongoing映画祭2009」Art Center Ongoing / 東京都
「SUPER ART PARTY」party / 福島県
「＋GIMMICK－」TURNER GALLERY / 東京都
「平成20年度 第32回 東京五美術大学合同卒業・修了制作展」国立新美術館 / 東京都
「Erectile parade – 卒業・修了制作展」武蔵野美術大学2号館101展示室 / 東京都

パフォーマンス

2014「階段の五段目と七段目を気にかけながら足早に駆け上がろうとした。見慣れない荷物のゆくえ。
踊り場にたどり着　いたのも束の間、呼び止めたのは目の端で見流したビニール傘。」blanclass / 神奈川県
熊谷拓明×原田賢幸「雲の切れ間に、一筋の雷歴。」site-D(黄金町バザール) / 神奈川県
2012「Beacon」GALLERY45-8 / 東京都
「きもちよい」bonobo / 東京都
2011「よってらっしゃい☆みてらっしゃ〜い☆猛烈人類さん大集合！！！」野方座 / 東京都

受賞歴

2010「第13回 岡本太郎現代芸術賞展」入選 川崎市岡本太郎美術館 / 神奈川県

※本展に関するお問い合わせは、下記連絡先までお願いいたします。
waitingroom（代表：芦川朋子）
住所：東京都渋谷区恵比寿西2-8-11 渋谷百貨ビル 4B
営業時間：月（17–23時）、金土日（13–19時）
Tel&Fax：03-3476-1010　Eメール：info@waitingroom.jp